

令和2年度 教育職員に係る時間外在校等時間（超過時間）の状況について

1. 期 間：令和2年6月～令和3年3月

※出退勤管理システムを導入後からの集計のため、6月分からの10ヶ月間

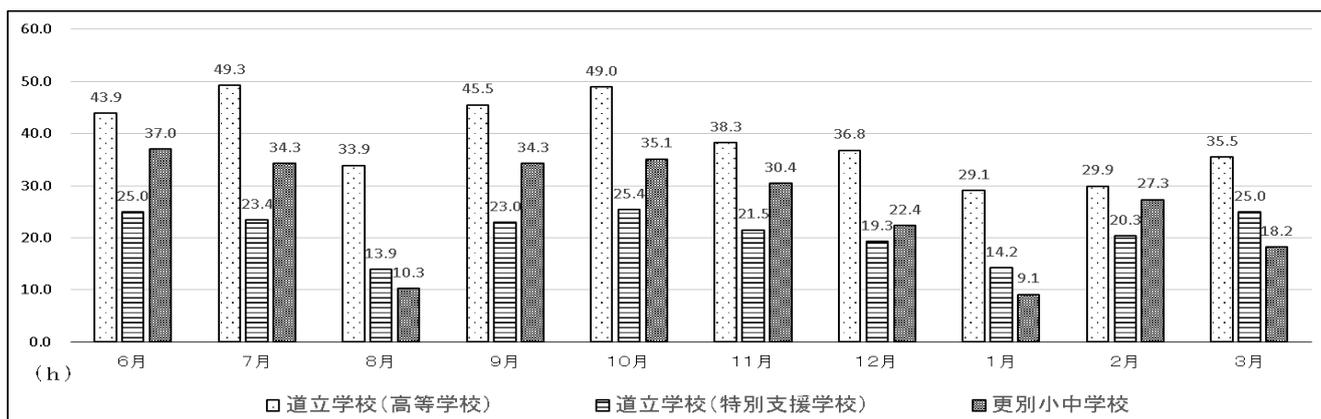
2. 対 象 校：更別小学校・上更別小学校・更別中央中学校の3校

3. 対象職員：教育職員（校長、教頭、教諭、事務員）

※更別村教育委員会では「学校における働き方改革 更別村アクション・プラン（第2期）」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1ヶ月で45時間以内、1年間で360時間以内としている。

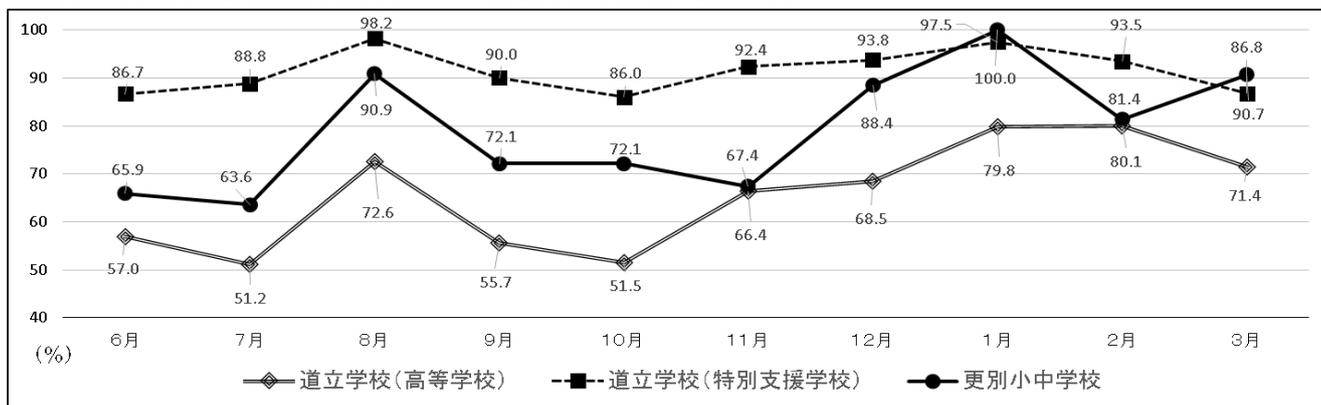
1 月別の時間外在校等時間の推移

(1) 教育職員の時間外在校等時間（一人当たりの平均値）



道立高等学校では7、9、10月を除く全ての月で、道立特別支援学校と更別小中学校では年間を通して、目標とする月45時間以内となっている。

(2) 時間外在校等時間が月45時間以内の教育職員の割合



月によってばらつきがあるものの、いずれの月においても、道立高等学校で50%以上、道立特別支援学校で80%以上、更別小中学校で60%以上となっている。

2 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教育職員数	うち年間360時間以内の教育職員	全教育職員平均	年間360時間を超過する教育職員
高等学校（195校）	7,524名	3,548名（47.2%）	410.3時間	3,976名（52.8%）
特別支援学校（66校）	4,388名	3,654名（83.3%）	224.9時間	734名（16.7%）
更別小中学校（3校）	44名	35名（79.5%）	239.2時間	9名（20.5%）

年間360時間以内の目標値以内の教育職員の割合は、道立高等学校で50%弱、道立特別支援学校で80%強、更別小中学校で80%弱となっている。